

根を張れ、花よ咲け

-美南市北郷丘団地再生計画-



最新の住宅需要にこたえるために、豊潤な山を削られた団地の多くが、更新計画を待たしている。

そして、その多くは建て替えによる更新されている。しかし、建て替えによる更新は団地の周囲の老健性を失ひ、そこに住む人々の影響を断片的なものにしてしまう。そこには団地が持つ団地の質としての可能性を見つめる余地は無い。

美南市北郷丘団地、山を削り削られた緑地帯の地に立つこの団地も、更新計画を待たされた団地のひとつである。この団地が、更新を断念し過去の記憶を残し、未来に向けて団地を再構築していく団地の質として構想することを目指す。

団地の短冊状ボリュームとオープンスペースの層状形成や動線とコア配置に見る団地特有の形式、住居の各住戸内での住まい方を示す事で団地の記憶を継承する。そこに、団地周辺により与えられたかつどの地形も、地形高しの環境やアクティビティと連続させながら山の記憶として取り直し、団地の記憶に継承される。

それによって団地の一層は削られた。そこに削られたひとつながりのオープンスペースには、団地から伝承するものによってが保たれ、それは団地の持つひとつ団地を継承し、上げながら団地周辺に於ける自然環境を継承していく。美南市北郷丘団地、山を削り削られた団地の住居をつなぎ、そこを継承する人々とともに、記憶を継承していく団地の質となる。

1. 美南市北郷丘団地について

美南市北郷丘団地は、斜面に建つ約50年の団地である。しかし団地周辺のために削られた緑地帯はかつての土地の記憶を失ってしまった。ここでは、場所が命であり、記憶も失われるなど建て替えが行われる可能性を念んでいる。

団地各種の歴史記憶においてもアスファルトで舗装された駐車場が一定距離を止め、建てられた緑地帯空間も居住部分との距離感からほとんど奪われていない。また、駐車場と緑地帯空間の間に高い植栽として佇む高層住宅も地形をユニティを示している一帯と考えられる。



Site Plan 1/10000



2. 団地の記憶の継承と山の記憶の復活

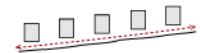
① 緑地帯の形成によって削られた団地は、短冊状のボリュームとそのオープンスペースが記憶した層状形成である。



② 団地の各棟1階部分の住居用、身ながら広くことで、団地の形式を残しながら1階部分にビロイ空間を生み出す。



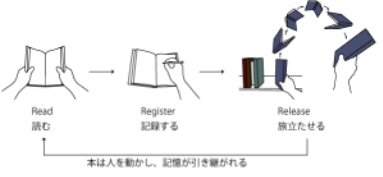
③ かつての地形(山の記憶)を復活させることで、穏やかな斜面を持ったひとつながりのオープンスペースを作り出す。



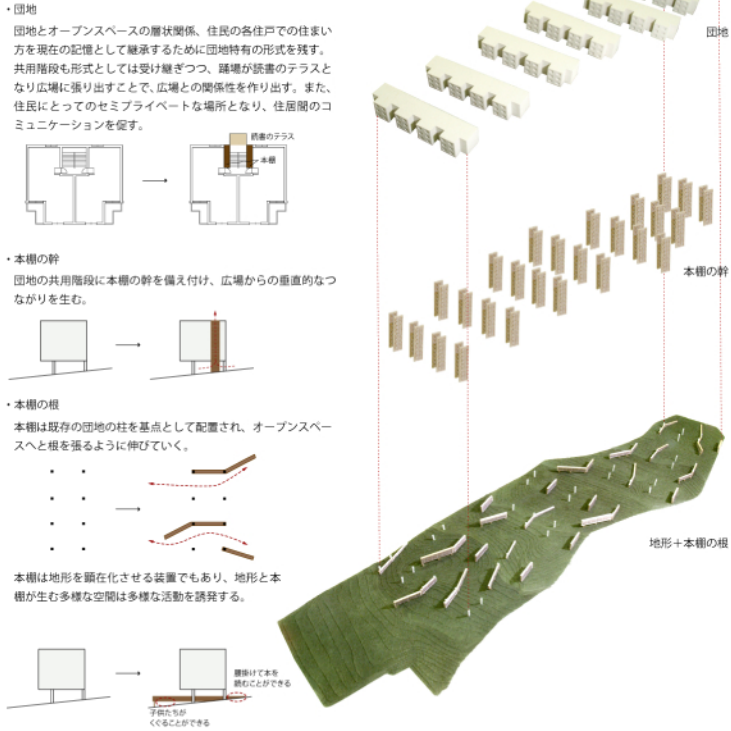
section S=1:200

3.本を媒体とした記憶の癖

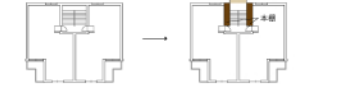
この図書館は団地や周辺の人々が持っている本をそれぞれ持ち寄り、本棚で共有することで成り立っている。本を置く場所は自由で、本は読まれるごとにその居場所を変え、本は団地の中を放して行く。また、本の巻末には記録ページが付け加えられており、読み終わったときに本を返した棚の位置や感想を記録していくことで、読者は本が旅した軌跡や、過去に読んだ人を知ることができる。本の動きに誘発されて人の動きも生じ、本は様々な人の記憶とともにまた別人に引き継がれていく。



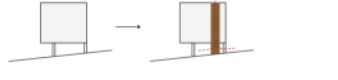
4.記憶のレイヤー



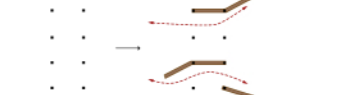
・団地
団地とオープンスペースの階層関係、住民の各住戸での住まい方を現在の記憶として継承するために団地特有の形式を残す。共用階段も形式としては受け継ぎつつ、踊場が読書のテラスとなり広場に張り出すことで、広場との関係性を作り出す。また、住民にとってのセミプライベートな場所となり、住居間のコミュニケーションを促す。



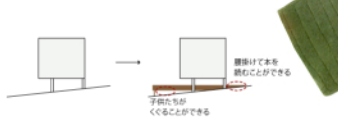
・本棚の幹
団地の共用階段に本棚の幹を備え付け、広場からの垂直的なつながりを生む。



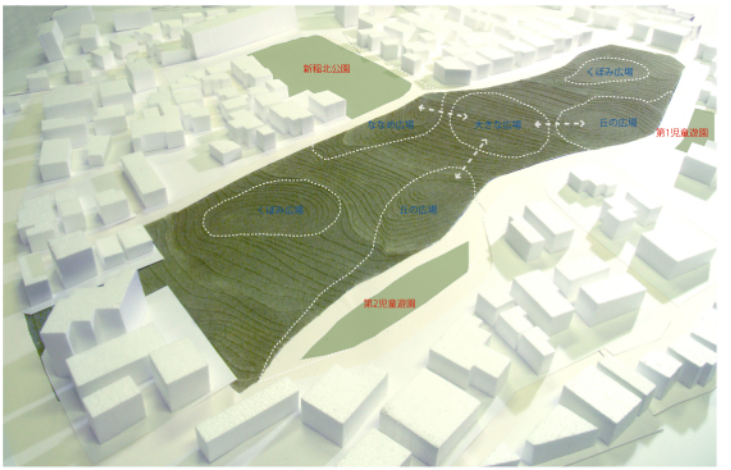
・本棚の根
本棚は既存の団地の柱を基点として配置され、オープンスペースへと根を張るように伸びていく。



本棚は地形を顕在化させる装置でもあり、地形と本棚が生む多様な空間は多様な活動を誘発する。



・地形
現状の地域住民の活動拠点として周辺には、公園や児童遊園がある。しかし、敷地を含めこれらの場所が北西に頂を望む山の一部である事は忘れられた記憶となっている。かつての山が持つ傾斜と周辺環境のアクティビティとの連続性により生まれたならかな地形は、敷地内の流れと周辺環境からの活動の流れを生む。



plan S=1:600



斜面上り方向を見通す。緩やかに起伏を繰り返す地形と本棚が、多様な場所を作りながら下まで続いていく。



団地間の横からの抜けの様子。本棚によって緩やかに区切られた空間を子供たちが駆け巡る。



突き出した読書のテラスで広場の様子を見ながら、のんびりと本を読む。



斜面上り方向を見通す。人々は本の流れに寄り添いながら、いくつもの団地を滑り抜けていき、お気に入りの場所を見つけ出す。